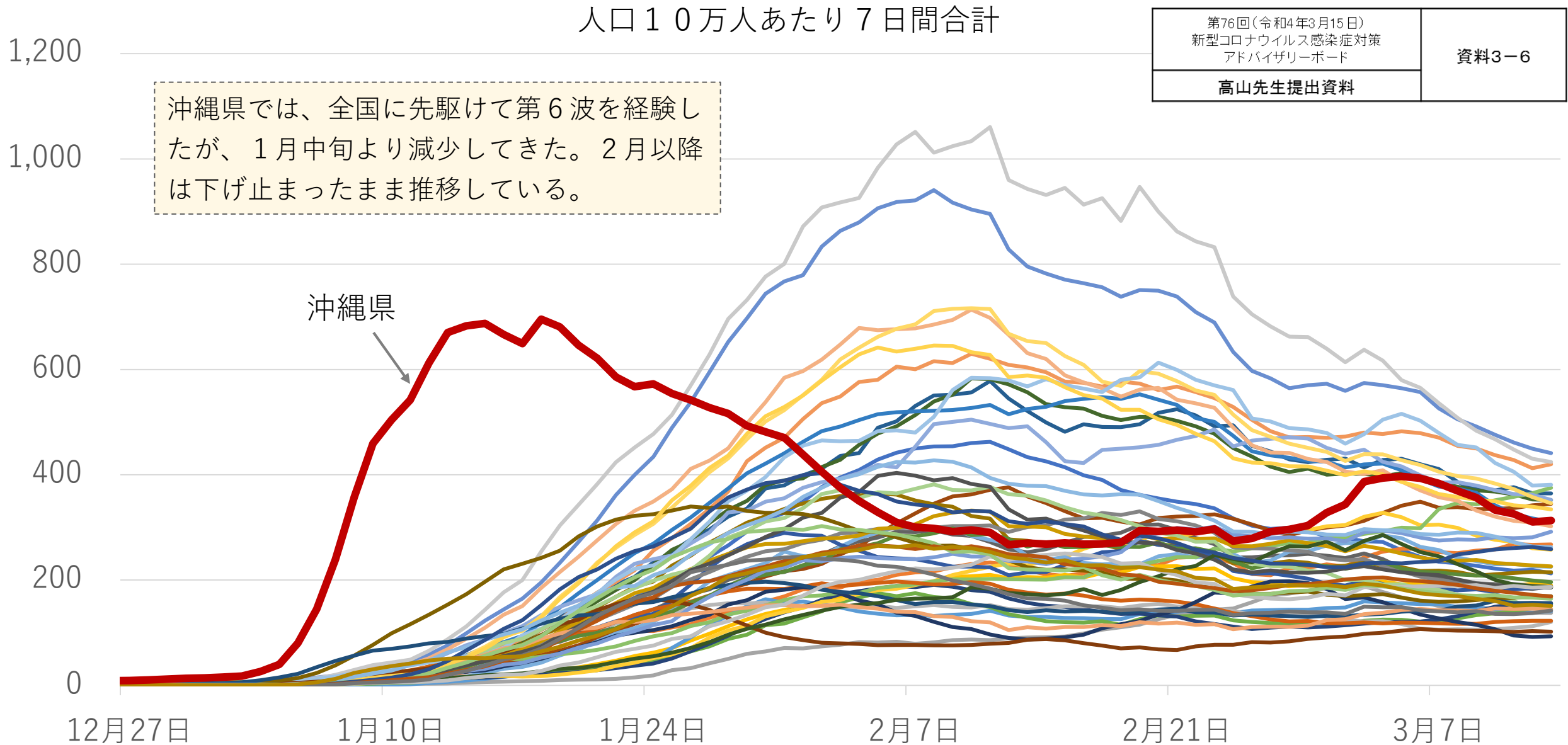


図1 都道府県別にみる新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)



出典：NHK特設サイト「新型コロナウイルス」掲載の都道府県ごとの陽性者数をもとに作図

図2 都道府県別にみる死亡者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

人口10万人あたり7日間合計

沖縄県の第6波では、流行規模に比すれば死亡者数は抑えられている。重症化リスクの高い要介護高齢者を重点的に守り、早期治療に繋げてきたことが、結果的には医療ひっ迫を回避し、被害を減らしてきた可能性がある。

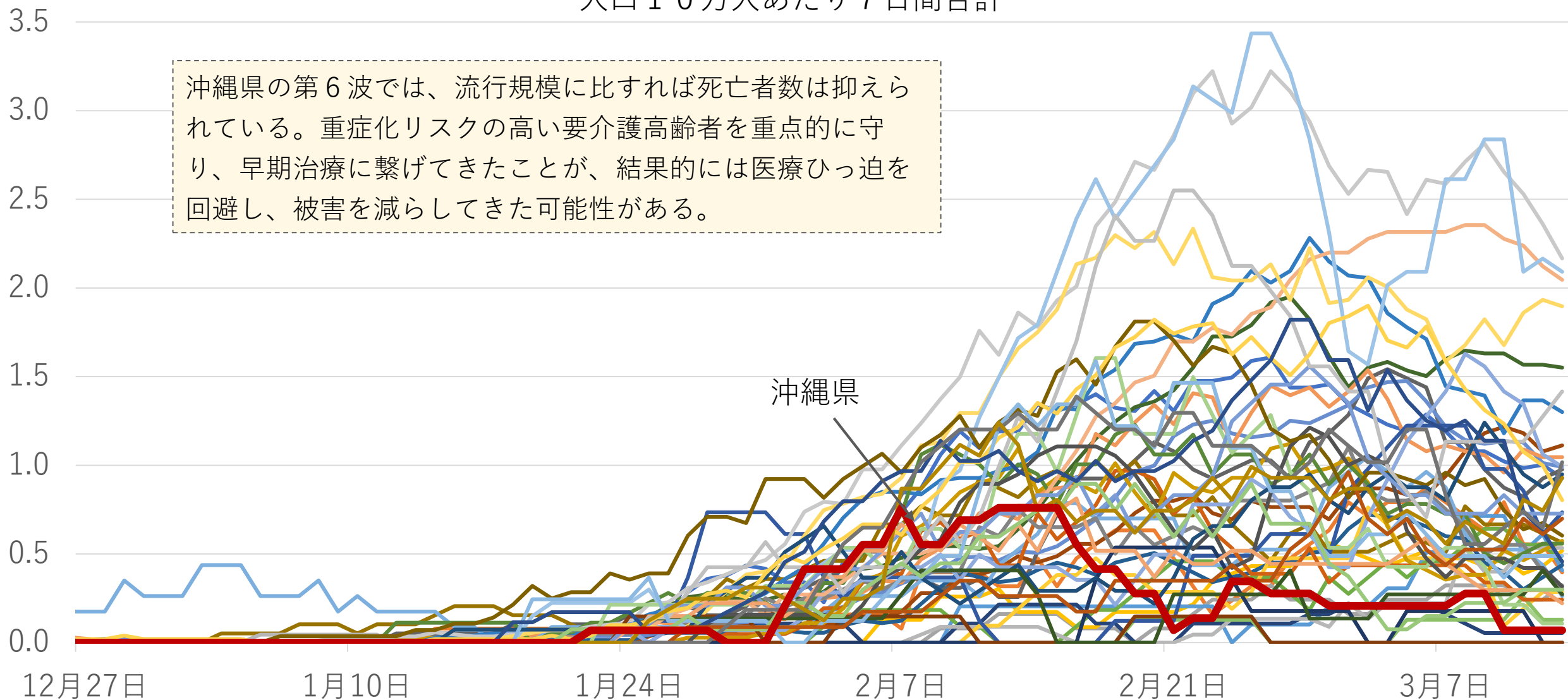


図3 保健所管区別に見る新規陽性者数の推移（沖縄県）

人口10万人あたり7日間合計

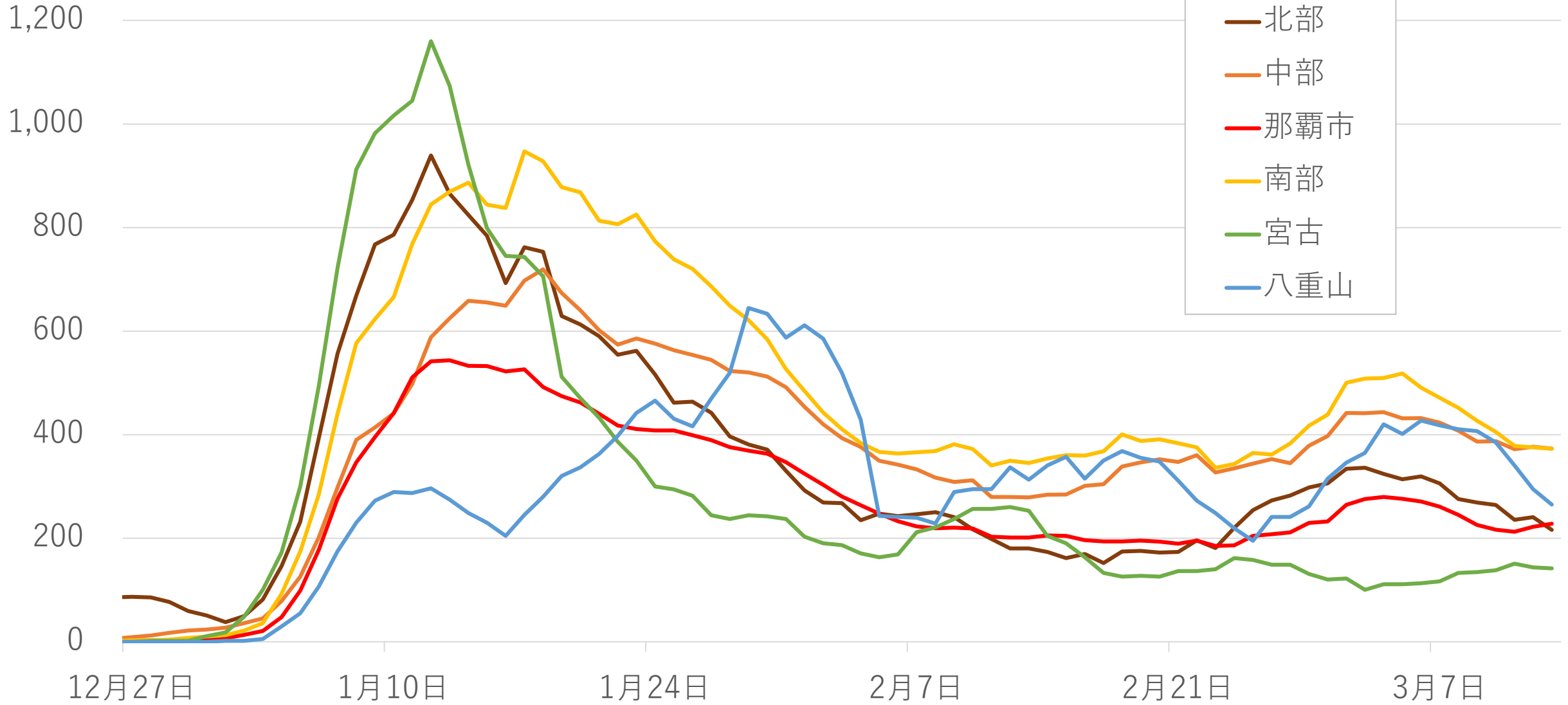


図4 性年齢階級別に見る陽性者数 (3月7日~13日)

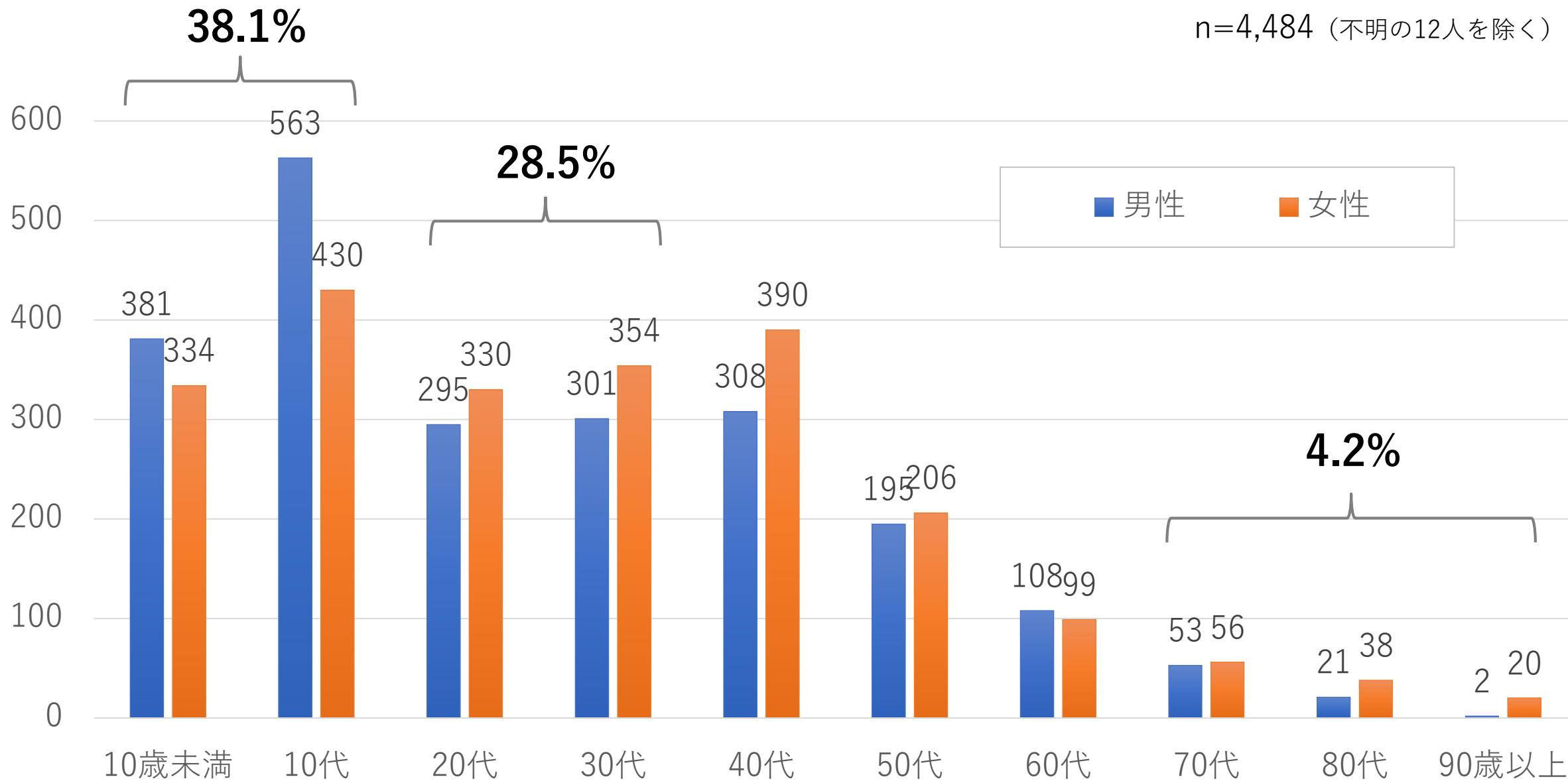


図5 幼年・若年層における推定感染経路（沖縄県）

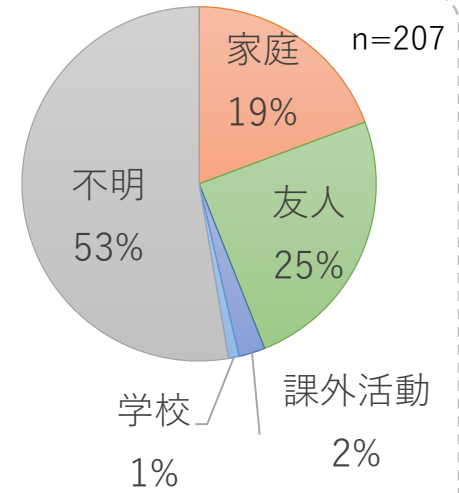
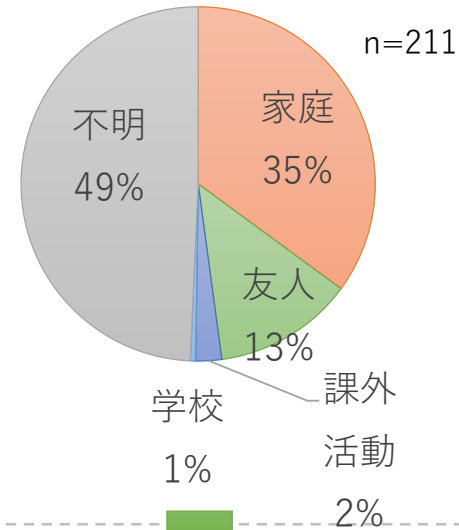
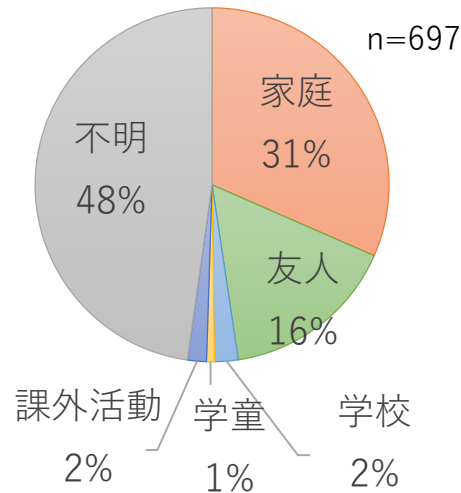
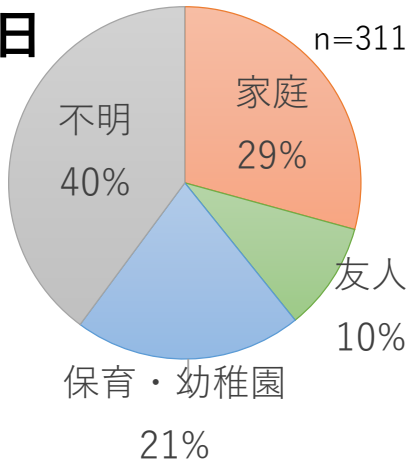
保育・幼稚園児

小学生

中学生

高校生

2月28日～3月6日



3月7日～13日

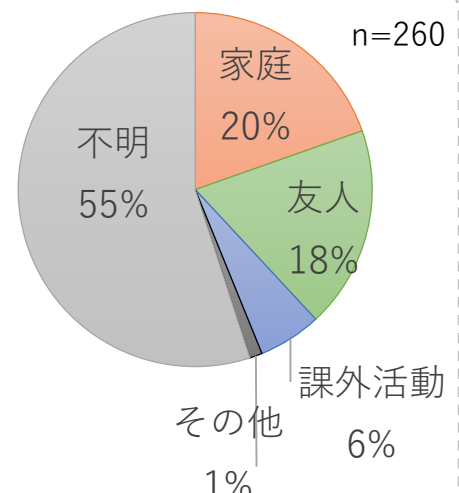
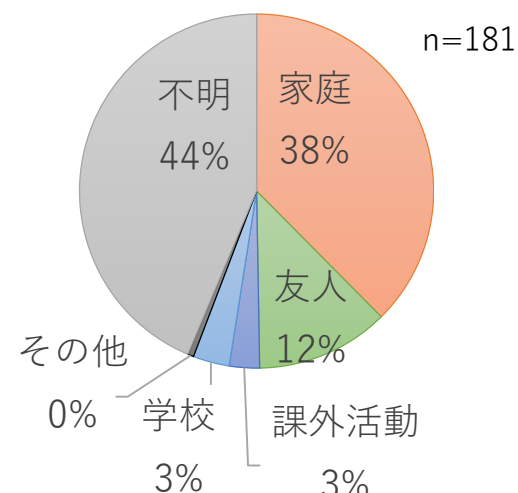
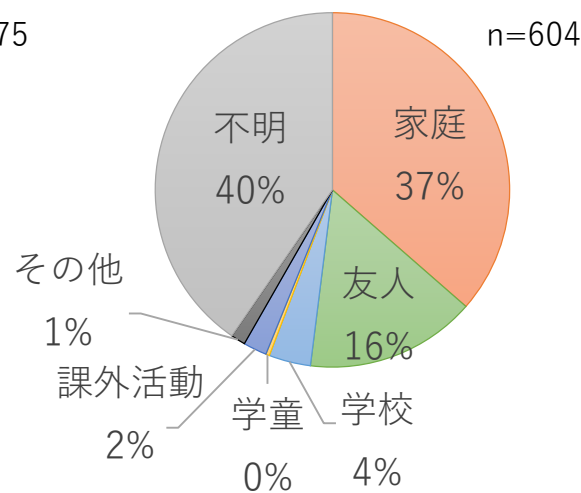
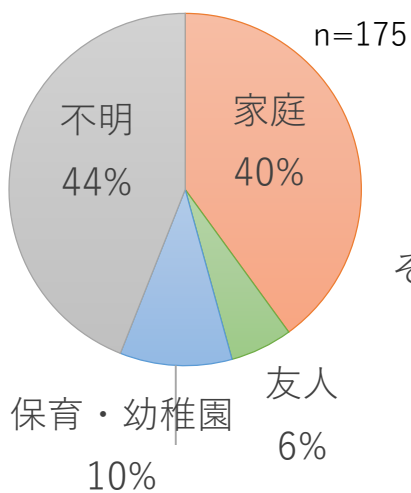


図6 年齢階級別に見る新規陽性者数の推移 (人口10万人あたり7日間合計)

まん延防止等重点措置

10代を除く、すべての年代において減少している。

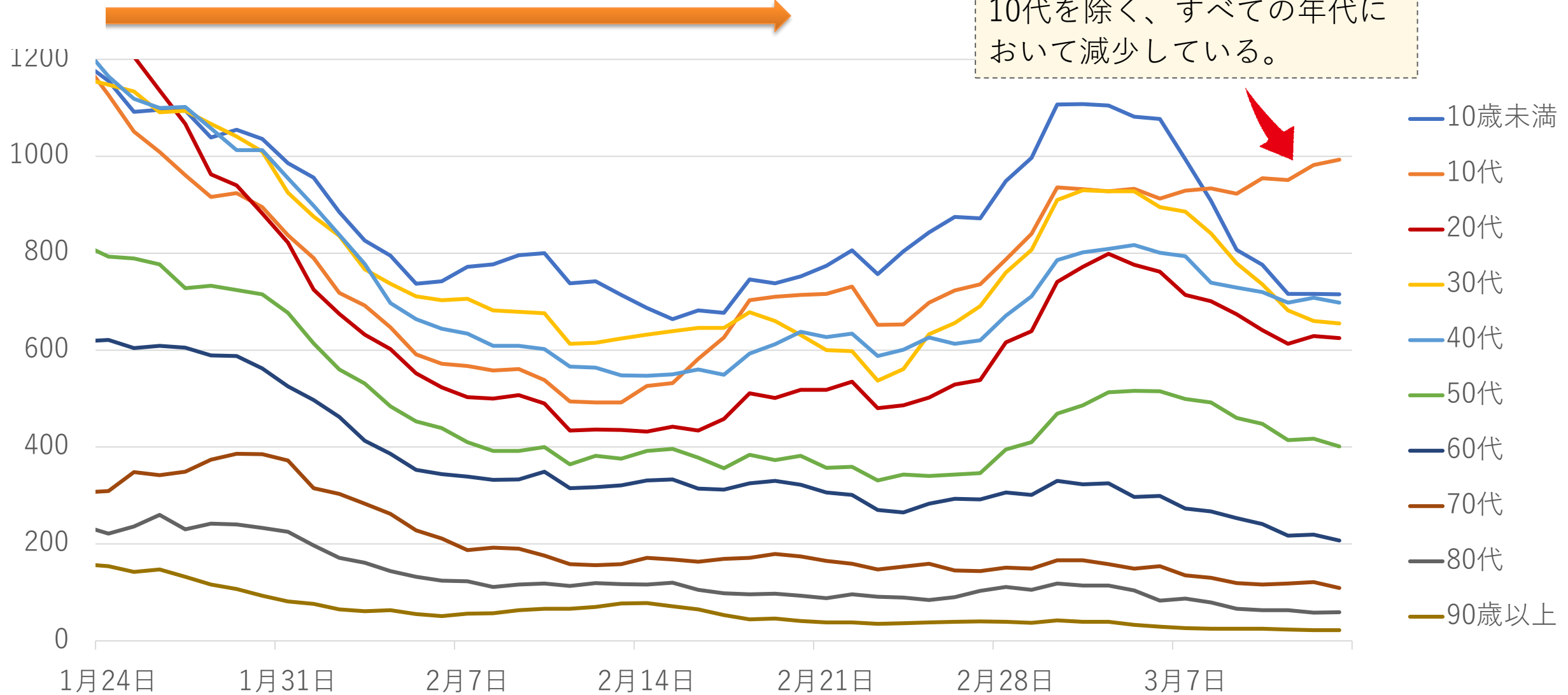
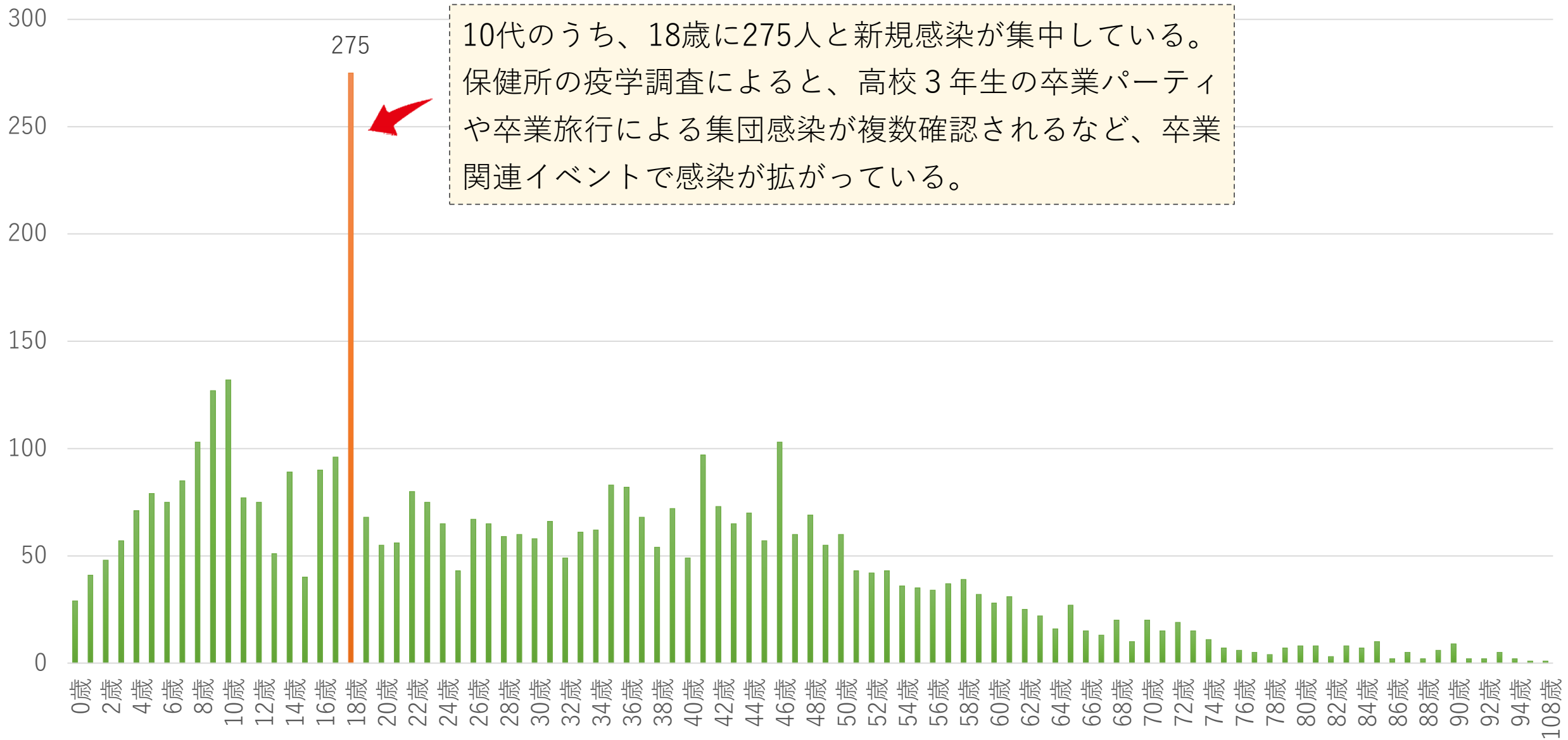


図7 年齢各歳別にみる新規陽性者数（3月7日～13日）



- ▶ 進学や就職、転勤などを前にした送別会等のイベントを予定している方が多いが、飲食を控えるか、できるだけ少人数とするか、検査陰性を確認してから開催するよう求めていく。
- ▶ 友人と懇親会を催した数日後に、親族との送別会を企画している場合には、高齢者への感染リスクがある。このような場合には、とりわけ事前に検査陰性を確認することを強く勧める。
- ▶ 春休み期間中に、親族訪問（帰省）や会食を予定している高齢者、基礎疾患を有する方、そして肥満のある方などは、事前に3回目のワクチン接種を終わらせておくよう求めていく。

図8 重症度別入院患者数と施設療養者数の推移

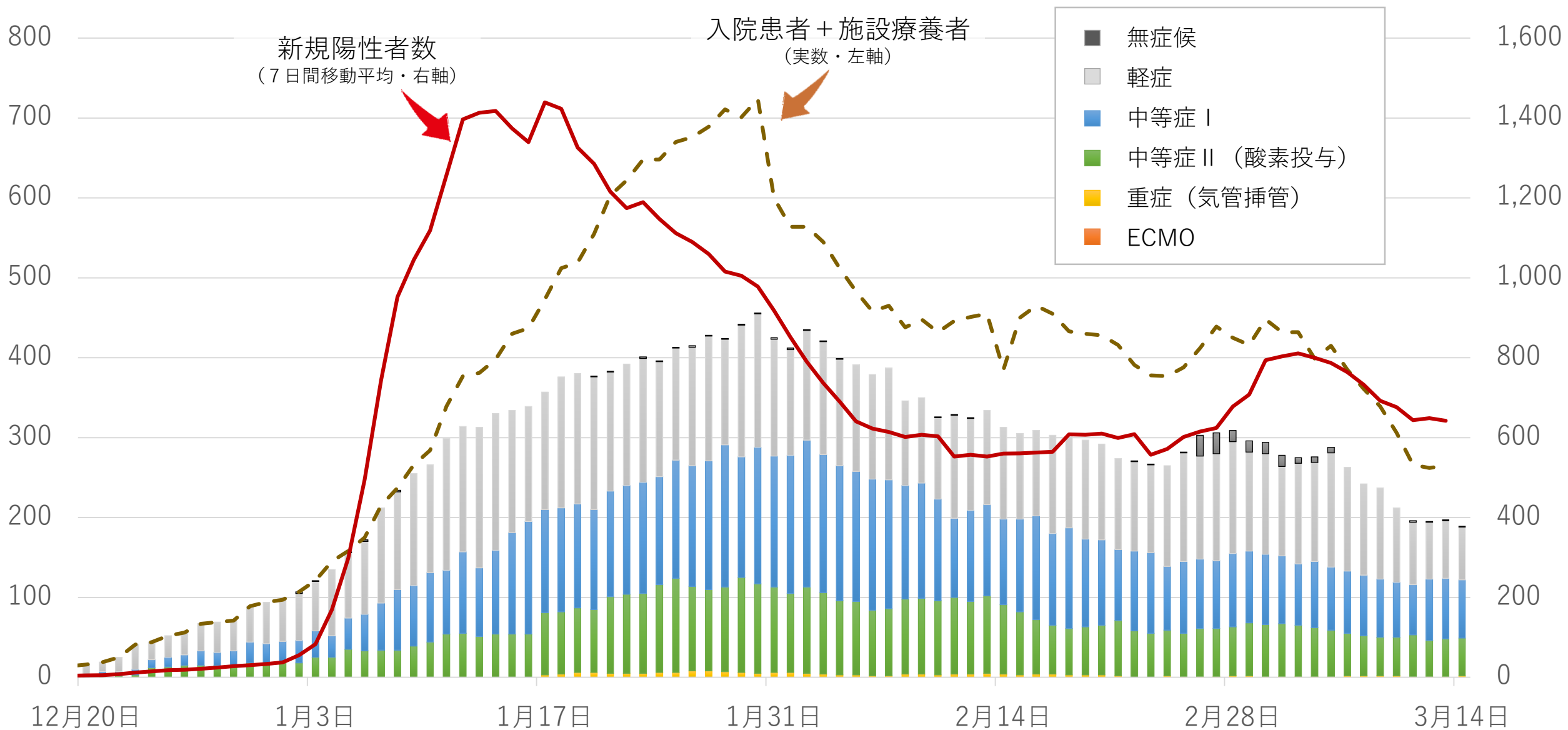


図9 新規陽性者数と新規入院患者数の推移

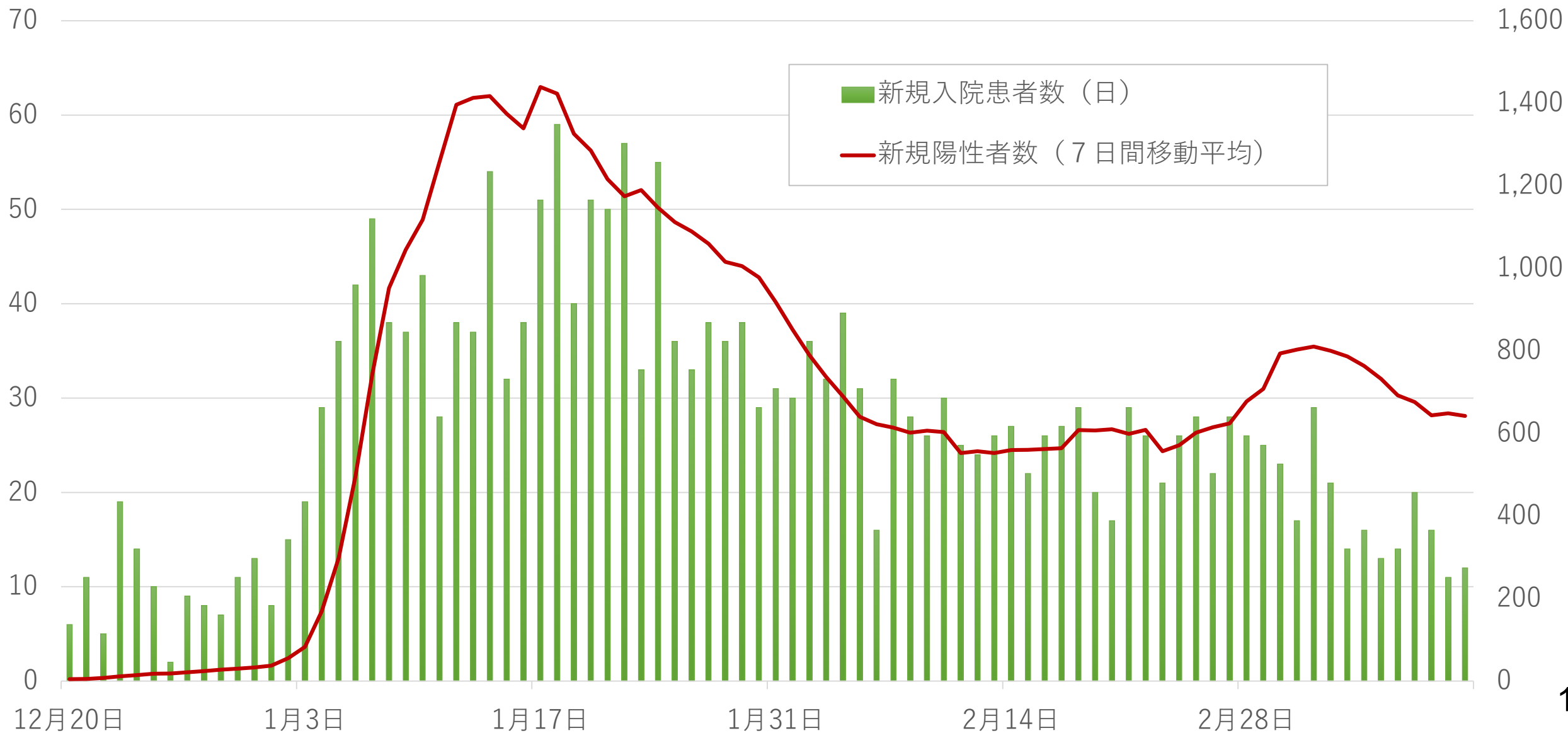


図10 高齢者の感染増加による入院需要増大への対応

入院受療率を下げる

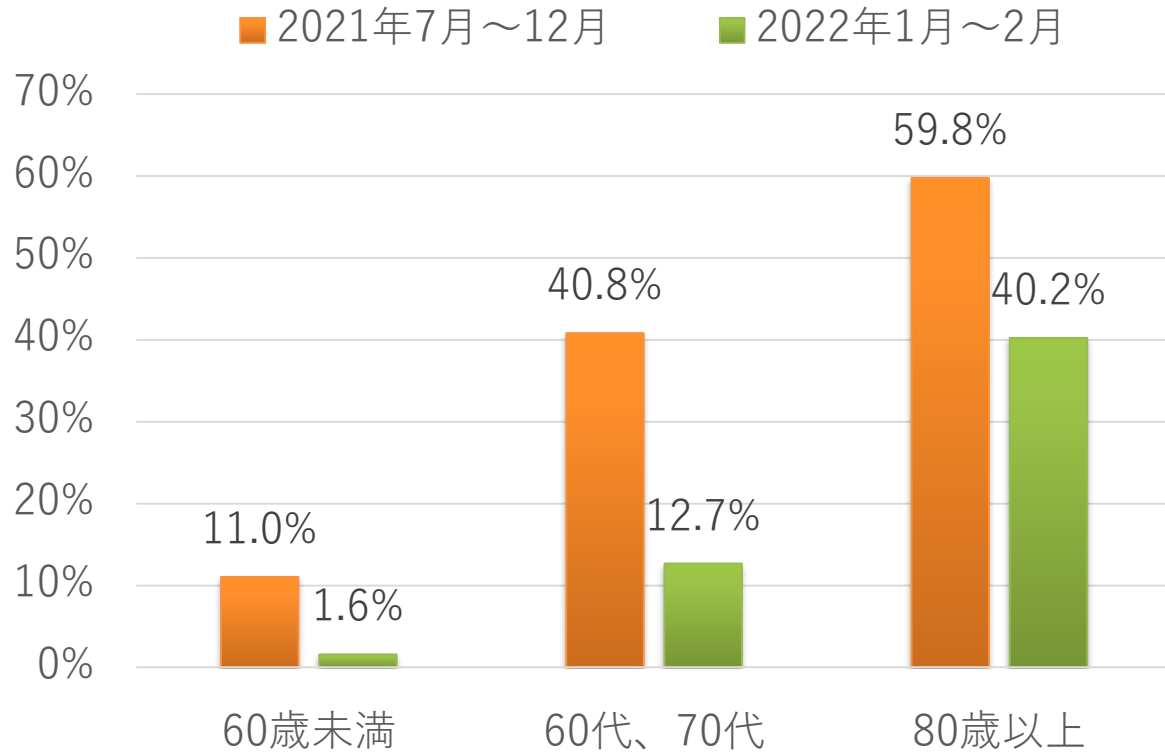
- ・ 未接種者へのキャッチアップと3回目接種を迅速に進める。
- ・ 入院待機／酸素ステーションを整備・拡張する。
- ・ 地域診療所の参画により、コロナ患者の在宅医療を推進する。

入院期間を短縮する

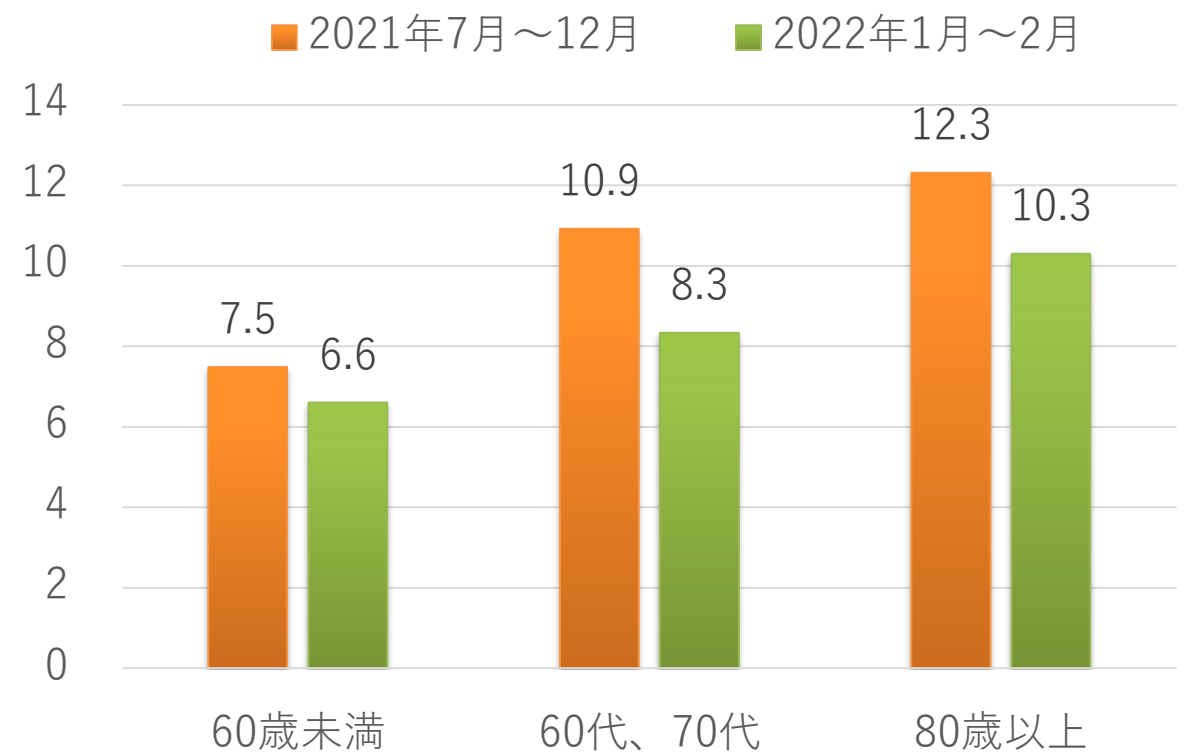
- ・ ハイリスク者に対して治療薬を早期かつ広範に投与する。
- ・ 退院・転院調整を円滑化する（各医療機関に任せず支援）。
- ・ 療養ホテルを拡張し、自立レベルの患者の早期退院を受け入れる。

図11 入院受療率と平均在院日数の推移（沖縄県）

入院受療率



平均在院日数



| | 60歳 満 | | 80歳 上 | 合計 |
|--|--------------|--|------------|--------------|
| | 2940 / 26617 | | 471 / 788 | 4404 / 29837 |
| | 688 / 43160 | | 699 / 1737 | 2022 / 49910 |

HER-SYS入力に基づく。入院日、退院日の記載漏れ、外れ値は除いている。また、院内感染についても把握できる範囲において除いている。